

NMC2025 年 1 1 月「例会報告書」

主幹事 小川 俊成 副幹事 石村 誠人

快晴 最高気温 19℃ 微風 湿度 45%

1. 開催日時： 2025 年 1 1 月 2 6 日（水曜日）8：55
2. 集合場所： 国立科学博物館日本館常設展入り口付近（NMC 小旗・NMC ジャンパー、緑色を目印）
3. 開催場所： 上野恩賜公園内
4. 参加者： 7 名 ①小川俊成②石村誠人③細越博資④泉 美代子⑤内田美津子⑥松崎和美⑦角田益美

目的：上野恩賜公園（明治 6 年の太政官布達によって、芝、浅草、深川、飛鳥山と共に、日本で初めて公園に指定され。江戸時代、東叡山寛永寺の境内地で、明治維新後官有地となり、大正 13 年に宮内省を経て東京市に下賜され「恩賜」の名称）内の大きな木立の晩秋の下、銀杏の黄葉、桜・もみじ等の紅葉の四季の変化を感じながら散策し、文化的な施設の見学・観覧・絵画鑑賞を実施した。

総評：自然と文化が融合した東京を代表するスポットであるが故、インバウンドの多さ、地方からの上京、関東近辺、旅行者が大人数であり、訪れる際は目的に応じて混雑を避ける時間帯を選ぶことの重要性、公式ウェブサイトなどで最新情報を確認することが必要であると再認識した。総じて「都会の喧騒を忘れさせてくれる広大で文化的な憩いの場」として高く評価多くの文化施設が点在し、アートや歴史に触れながら一日中楽しめる。アクセスは、上野公園口改札から始まるという立地の良さも高評価に値する。目的や年齢に応じて様々な過ごし方も可能である。65 歳以上無料の施設が殆どであることも大きな魅力であり、会員の活用を期待する。

散策コース

① 9：00～9：45 「国立科学博物館」入館料：一般 630 円 65 歳以上無料（寄付付き 630 円の内寄付 370 円）

国立科学博物館（科博）は、1877（明治 10）年に創立、日本で最も歴史のある博物館の一つ、自然史・科学技術史に関する国立の唯一の総合科学博物館。自然史や科学技術史に関する調査・研究を行うとともに、500 万点以上の貴重なコレクションを保管し、展示。日本列島の自然と私たちをテーマとする「日本館」と、地球生命史の人類をテーマとする「地球館」がある。

② 9：45～10：00 公園内散策移動

銀杏の巨木の黄葉が美しい。

③ 10：00～10：20 東京国立博物館「黒田記念館」入館料：無料

黒田記念館は、洋画家黒田清輝(1866～1924)の遺産と作品が国に寄贈されたことが契機となって建てられた施設。昭和 3 年(1928)に竣工し、その 2 年後には帝国美術院附属美術研究所として開所。彼の芸術を顕彰するために油彩画、素描等を公開。様式建築の名手 岡田信一郎築様式（歌舞伎座、明治生命館、鳩山一郎邸他）、油彩画、デッサン、写生帖等小規模ながら見どころ満載。

入館料：無料

併設の「上島珈琲」は、座席数の確保が難しい上、珈琲単価が¥660。

④ 10：25～10：50 東京藝術大学大学美術館

展覧会の開催期以外は閉館、現在、芸術未来研究場展・第七回公益財団法人芳泉文化財団を開催。芸術の最高学府に学ぶ現代の若き芸術家達の気概に触れる機会を得た。

大学美術館取手館は、2025 年 4 月からガイドツアー形式で公開。

入館料：無料

⑤ 10:45～11:00 公園内散策移動

⑥ 11:00～12:30 ランチ カフェすいれん「国立西洋美術館」内
ガラス窓の先に木々の美しい中庭、その向こうにロダンの彫刻、お勧めのレストラン
コルビジェプレートドリンク付¥2200 を選択 6名、ビーフカレー¥1700+珈琲¥350
ランチ後、自由散策

⑦ 12:30～ 文化施設探訪

本館建物は世界遺産！「国立西洋美術館」

フランス政府から寄贈返還された約370点の松方コレクションを中心とした西洋美術品の展示。モネ、ロダンなどの作品を多数所蔵。建築家ル・コルビュジェによる設計で、2016年には世界文化遺産に登録。

常設展観覧料：一般 500 円 65 歳以上無料

オルセー美術館所蔵 印象派 特別展開催 2025. 10. 25～2026. 2. 15 一般 2300 円

ルノワール（読書する少女）、モネ（睡蓮）、パルトロメ（温室の中で）、ガレ、ピサロ他

「東京都美術館」入館料：無料

大正 15（1926）年開館。美術団体による公募展覧会や、国内外の名品を楽しめる特別展、企画展を開催。「上野精養軒」による館内のカフェ＆レストランゴッホ展（特別展）は、9.12～12.21 作品 30 点以上、日本初公開ゴッホの手紙 4 点、観覧料 65 歳以上 1600 円

以上

